

平成15年9月11日

連絡先

環境部化学物質対策チーム
吉田、大西(059-224-2483)

資料提供について

1 発表事項

三重ごみ固形燃料発電所(RDF貯蔵槽)事故に伴うダイオキシン類環境調査
(本調査)結果について(大気・水質)

2 発表要旨

RDF事故直後の敷地境界を含む周辺環境調査(本調査)のうち、大気および水質の結果を公表します。

大気環境

8月21日~22日(24時間採取)に発電所敷地境界3地点で行った本調査の結果は、 $0.46 \sim 1.3 \text{ pg-TEQ/m}^3$ であり、2地点で環境基準値(0.6 pg-TEQ/m^3)を上回りました。

8月22日~29日(1週間採取)に周辺6地点(桑名市嘉例川、桑名市大山田、東員町城山、東員町笹尾、多度町御衣野 および 多度町力尾)で行った本調査の結果は、 $0.038 \sim 0.079 \text{ pg-TEQ/m}^3$ であり、すべての地点において環境基準値を下回り、異常は認められませんでした。

発電所敷地境界で大気環境基準を超過しましたが、環境基準は、「長期的な影響の観点から人の健康を保護するうえで維持することが望ましい基準」として定められたものであるため、一時的にこの値を超えたとしても、ダイオキシン類により健康が損なわれるものではありません。

水質環境

8月20日に発電所調整池、放流口および沢地川上下流3地点の計5地点で行った水質調査の結果は、 $0.027 \sim 0.83 \text{ pg-TEQ/L}$ であり、すべての地点において排水基準値(10 pg-TEQ/L)または環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回り、異常は認められませんでした。

3 今後の方針

土壌4地点の本調査結果についても、9月中頃に判明する予定です。
結果については、公表していきます。

三重ごみ固形燃料発電所（RDF貯蔵槽）事故に伴うダイオキシン類環境調査結果（本調査）

H15.9.11

		測定場所	所在地	採取日	測定結果		環境基準
大気	1	RDF発電所敷地境界 1	多度町力尾地内	8月21日（木） ～ 22日（金）	0.80	pg-TEQ/m ³	0.6 pg-TEQ/m ³ 以下
	2	RDF発電所敷地境界 2	多度町力尾地内		0.46		
	3	RDF発電所敷地境界 3	多度町力尾地内		1.3		
	4	嘉例川地区集会所	桑名市嘉例川地内	8月22日（金） ～ 29日（金）	0.079		
	5	大山田西小学校	桑名市大山田地内		0.066		
	6	東員第二中学校	東員町城山地内		0.045		
	7	笹尾コミュニティセンター	東員町笹尾地内		0.048		
	8	御衣野集会所	多度町御衣野地内		0.049		
	9	多度町南部コミュニティプラザ	多度町力尾地内		0.038		
水質	1	RDF発電所調整池	多度町力尾地内	8月20日（水）	0.42	pg-TEQ/L	10（排水基準相当）
	2	放流口	多度町力尾地内		0.088		
	3	沢地川放流点上流	多度町力尾地内		0.027		1 pg-TEQ/L 以下
	4	沢地川放流点下流	多度町力尾地内		0.24		
	5	合流点（沢地川・力尾谷川）	多度町力尾地内		0.83		

環境基準 : 長期的な影響の観点から人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準として定められたものです。

TEQ : ダイオキシン類は、毒性の強さがそれぞれ異なっており、ダイオキシン類の仲間でも最も毒性が強い2, 3, 7, 8-TCDDの毒性に換算し、足し合わせた値をTEQと言う単位で表現しています。

pg（ピコグラム） : 10^{-12} g、1兆分の1グラム、東京ドームに相当する体積の入れ物に水（ 10^{12} g）を満たして角砂糖（1g）を溶かした場合に相当します。

簡易調査 : 国が定めた方法（公定法）でないが、迅速にダイオキシン類をスクリーニングする方法。生物検定法等により約1週間で結果が得られます。

本調査 : 国が定めた方法（公定法）による調査。検体採取後で結果がでるまでに通常2ヶ月、早くても1ヶ月程度かかります。また、土壌の本調査による結果は出ていません。本調査に係る速報値は9月中旬に公表の見込みです。